

告 知 版

(1) 年報IV「農村過剩人口の存在形態」の編輯について

年報IVは既報の通り表記題名(仮題)の下に編輯が進められてきましたが、その後執筆者の都合等により一部予定が変更され目下印刷への手配にはいつております。例年通り、秋の大会には間に合うことと思いますので、御期待下さい。なお予定内容は次の通りです。

(一) 農村過剩人口の存在形態
——福島県甘藷村の調査事例を中心として——
小池基之

○農村人口の配置規制

中島龍太郎

○農村過剩人口の存在形態

——形成の現状とその類型——

西村甲一

○題未詳

並木正吉

○「家」制度と小農制

中野芳彦

○瀬戸内海島村における人口流動の研究

滝野四郎

○兼業農家の家族構造

——北九州近郊農村における通勤農家

原 宏

○学界動向

(1) 経済学における村落社会研究

島田 隆

(2) 歴史学

大石慎三郎

(3) 社会学

塚本哲人

(4) 法律学

千葉正士

(5) 地理学

渡辺久雄

(2) 会費納入者(記載もれと前号以降の分)

昭和三〇年度以降	八木佐市
昭和三一年度	神谷 力
昭和三二年度	吉沢四郎

(3) 事務局、よりのお願

本号も編輯者の多忙等のために予定より発

行がおくれたことをお詫びします。いよいよ秋の大会の日もまじり、休暇等を利用して会員の研究も進められていと存じます。次号の原稿を九月末日メ切で募集いたします。各地の研究状況なり書評なり大会への希望なりをどうか積極的に寄せ下さい。

なお秋の大会についての報告希望等につき返信を同封いたしましたので、これも九月末までに到着するように必ずお送り下さるよう願います。

毎年の通信で若干返送がありますので特に住所等の変更についてはお忘れなく記入願います。

以上